

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>				
I-1. 理念と共有				
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所前よりの、理念が合致している。又、利用者さんにも分かりやすい言葉で、利用者さんに書いて頂き提示している。	
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申し送りでも理念を復唱し、理念に基づく日々の方針を具体的に伝えている。	
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎朝、申し送りでも理念を復唱し、理念に基づく日々の方針を具体的に伝えている。	
理念と共有 3項目中 項目				
I-2. 地域との支え合い				
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	開所5年目になり、ご近所や、近くのお店の方などいつもご利用者さんの顔を覚えてくださり、通ると声がけや、挨拶など出ています。ご近所の同年代の方が訪ねてくださったり、近所の子供さんも遊びに来られたことがあります。	
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の地蔵盆や夏祭り、障害者のお祭りなどに参加させていただいている。ホームの為に特別に席を設けて下さるなど、一方的にお世話になっている感がある。今年はお祭りに 地域の方にもお越しいただけるよう、町内の回覧板を利用し案内させて頂き、少数だが、お越しいただくことが出来た。	
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域ケア会議で、地域の施設見学会を催し、当愛和も見学して頂き、認知症介護についてお話をさせて頂いたり、質疑応答をした。又、地域学区の社協新聞に記事を書かせて頂いた事もあった。	○ グループホームの経験を生かした、認知症講座の機会があれば取り組みたい。
地域とのつきあい 3項目中 項目				

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を皆ですることにより、今まで気付かなかった事や、介護者としての姿勢など、振り返ることが出来た。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、主にサービスの状況、取り組み、地域との連携方法などを話している。家族さんからの希望や、ご近所からの要望も聞かれ、改善に努めている。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議や情報提供会に出席し、情報を得ている。又、分からないことがあれば、電話や市役所に訪問し相談している。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について研修済みであるが、ホームの利用者さんには介護者がおられ、今のところ該当者が無い。職員には、制度の概要と必要性の研修をした。		
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の外部研修に参加。又、外部研修を受けた職員に講師になってもらい、内部研修を実施した。	○	職員の入替わりもあり、機会を設け研修を実施していく。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類を一緒に読みながら、口頭で説明を行い、質問が無いかを確認しながら、理解、納得頂いている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に機会は設けていないが、いつでも気軽に話せる雰囲気作りに努めている。意見は可能な限り受け入れている。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	愛和通信、預かり金の金銭出納帳のコピーと領収書を毎月自宅に送付。又、近況報告、受診・往診報告も6月度より送らせて頂いている。面会の家族さんには、希望により、介護記録も閲覧しサインを頂いている。職員の移動も愛和通信や家族さんとの会合などで報告している。職員の紹介写真を掲示している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談や苦情を、気軽に伝えて頂けるよう、働きかけている。玄関にも意見箱を置いている。	
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1回職員の面接を実施。意見や希望目標などを聞いている。 又、2ヶ月に1回ぐらいミーティングを実施し自由に意見を言ってもらっている。	
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	受診や、状態の悪化時は、職員の勤務延長などで対応している。	
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の職員の移動は原則1人ずつとし、少しずつ慣れていただいている。3,4月に離職者が続き、移動や新人職員を迎えたが、特に混乱はなかった。	○ 今後、職員の移動は最小限にとどめていきたい。
理念を实践するための体制 7項目中 項目				
I-5. 人材の育成と支援				
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	牽引していく管理者・リーダーは県やGH協会の研修などで、又、新人研修なども段階に応じて参加している。2ヶ月に1回位内部研修を行っている。現場では、その都度OJTを行っている。	
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会に参加。職員同士の交流会に参加した職員からはとても勉強になったとレポートをもらい、回覧した。近所のグループホームとは行事の時の招待等、交流を持っている。	○ 今後も、交流会の参加を促していきたい。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	歓送迎会や忘年会、職員の慰労会を行っている。	○ 慰労会を定期的に行い職員同士のコミュニケーションを図りながらストレス解消に努めたい。
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個性を尊重し、まず良い所を認め、お互い補い合いながら利用者さんの援助にあたっている。自己研修で学んできた事を、他の職員にも伝えながら、援助を行っている職員もいる。	
人材の育成と支援 4項目中 項目				

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 <input type="checkbox"/> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<p>この本人からの相談は今まで無かった。この本人にもホームに見学に来て頂き、思いや困っていることを聞</p>	
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目				
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが 喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<p>得意な料理や掃除など利用者さんから教えてもらったり、畑仕事、味噌づくりなどを教えて頂くなど、感謝の気持ちを伝えながら、暮らしている。外食や散歩でのきれいな花を眺め、一緒に喜び合う時の笑顔は良い。</p>	
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<p>面会時にはありのままの状況を説明しながら、ホームとの良い関係づくりに努めている。最善の援助が出来るよう話し合っている。</p>	
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<p>認知症のセンター方式の記録や聞き取りにて、家族さんの思いを理解し、行事や、面会時の一緒にお茶の時間を設けるなど、共に過ごせる機会を作っている。</p>	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	父や、親戚の方の面会もご家族に確認しながら、 受け入れている。電話の希望がある時は、相手の方 のご迷惑にならない時間だったら、自由にかけて頂 いている。ご家族さんに毎週自宅に連れて帰ってもら われている方もある	
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が 関わり合い、支え合えるように努めている	お元気な方が多く、言い合い等トラブルも多い。職員 が中に入り仲裁等、援助している。 仲の良い人同士一緒に居られるよう、席を誘導したり もしている。	
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用 者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご家族には、親元に来ているつもりで、気楽に過ご して頂けるよう、気持ちよく迎えている。 24時間何時でも面会を受け入れている。宿泊もOK。 泊まれた家族さんもある。	
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目				

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>				
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行動の都度意思確認をしている。お茶、午睡など自分の意思をうまく伝えられない人は、顔を見ながら、表情で読み取っている。	
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、担当のケアマネさんや、家族さん、ご本人から情報を頂き、全体像を把握している。	
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	家族さんや、デイでの様子、ケアマネさんの情報など多方面から教えて頂き、把握に努めている。	
一人ひとりの把握 3項目中 項目				
		<input type="checkbox"/> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目				
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	昨年、2名ターミナルを実施した。ご家族さんに宿泊や、食事等くつろいで頂けるよう環境を整えた。	
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目				

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員さんや地域の方は運営推進会議だけではなく、習字、踊り、歌、工作、お花など沢山の方がボランティアで応援してくださっている。	
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前に行き慣れた地域のディサービスに行きたいと希望され、自費で行って頂いた事があった。	
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での話し合い助言は頂いているが、ケアマネジメントでは相談していない。権利擁護に該当される方も今のところおられない。	
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅での主治医を継続希望の利用者さんは継続して頂いている。往診の方、受診でフォローの方いろいろあったが、体調が悪くなり、受診が困難になった時点で、家族さんと相談し、往診医に変更して頂いている。	
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する専門の病院2箇所、相談できるDrがおられる。必要な方は、定期的を受診をし、診て頂いている。	
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師さんが週に1回訪問し、状態を診てくださっている。看護面からの介護の注意点など助言を頂いている。緊急時は依頼し診て頂いている。ホーム、看護師さん、主治医の連携ルートが出来ている。	
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には病院に情報を伝え、相談している。環境の変化で認知症が進行しないよう、可能な方は早期に退院された方もあった。	
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時、家族さんに予めターミナルについての意思確認をおこなっている。重度化された場合は、家族さんや主治医と相談しながら方針を決め、職員にはミニカンファレンスや申し送りノートで情報を共有している。	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームでのみとりの経験をふまえ、重度化された時の主治医、訪問看護師、ホームの連携体制は出来ている。	
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	Aユニットには入院によりやむを得ず退所になられた方はおられるが、他はない。今後そのようなケースがあった場合努力したい。	
地域資源との協働 10項目中 項目				



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
IV-1. その人らしい暮らしの支援				
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重				
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	その方の生活暦を尊重。過去にして来られた仕事や、性格等に添いながら、言葉かけを行っている。又、認知レベルに合わせ、その方が分かる声かけを行っている。排泄誘導は慣れから、声の大きい時もある。排泄時はドアを閉め、タオルで覆っている。	○ ・排泄誘導の声掛けのトーンを落としていく。
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分の意思を発言できる方が多い。失語症により言葉の表出の出来ない方は、どちらかを選択できるように話しかけ、うなづきで意思を確認している。	
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・言葉と、表情を見てご本人の希望を考えるようにしている。 ・その方のペースが自己表現できない方は、職員が判断し行う時がある。	
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目				
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・基本的には自宅から持ってきた服を自分で選び着ておられる。近所のお店で化粧品、服を買われる方もある。元美容師の利用者さんもおられ、助言の下、職員が髪を切らせて頂く時もある。	
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台所で野菜を切ったり、味見をしてくださっている。盛り付けは、ご利用者さんに御願している。メニュー決めの機会が増え、自分の食べたい物を言い合いながら、決めている。テーブルにまな板を並べ手分けしながらの調理は楽しい。	
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・飲み物は、ご本人の嗜好に合わせ提供前に聞いている。 お酒・タバコを吸う方がおられない。	
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・トイレはすぐに対応している。昼間は出来るだけ身軽に居られるよう、パンツとパットで対応している方が多い。排泄チェック表で排尿パターンをつかみ援助している。	
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	3日に1回は入っていただけるよう声掛けを行っている。ご本人の希望により毎日入られる方もある。2番風呂希望の方は、2番風呂に入られている。	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その方の生活リズムに合わせて対応している。日中の体調を見ながら、午睡していただいている。	
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目				
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・基本的には自宅から持ってきた服を自分で選び着ておられる。近所のお店で化粧品、服を買われる方もある。元美容師の利用者さんもおられ、助言の下、職員が髪を切らせて頂く時もある。	
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	台所で野菜を切ったり、味見をしてくださっている。盛り付けは、ご利用者さんにお願いしている。メニュー決めの機会が増え、自分の食べたい物を言い合いながら、決めている。テーブルにまな板を並べ手分けしながらの調理は楽しい。	
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・飲み物は、ご本人の嗜好に合わせて提供前に聞いている。 お酒・タバコを吸う方がおられない。	
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・トイレはすぐに対応している。昼間は出来るだけ身軽に居られるよう、パンツとパットで対応している方が多い。排泄チェック表で排尿パターンをつかみ援助している。	
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	3日に1回は入っていただけるよう声掛けを行っている。ご本人の希望により毎日入られる方もある。2番風呂希望の方は、2番風呂に入られている。	
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	その方の生活リズムに合わせて対応している。日中の体調を見ながら、午睡していただいている。	
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目				
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援				
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての職員研修をしている。新人職員にはOJTを行っている。身体拘束項目の張り紙をしているが、再度徹底していく。	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・直ぐに玄関より出て行かれる方があり、交通事情から玄関を施錠しているが、開け方も教えている(職員が気付ける時間稼ぎ)玄関の鍵の解除の為の取り組みを考えているが、防犯の面からも考えると難しい。身体拘束の研修に現在職員が行っており、テーマとして取り組みたい。	○ 安全に過ぎて頂け、玄関の鍵の解除を検討していく。
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・玄関や庭など、自由に出入りして頂き、そと様子確認をしている。外に出られる時は、同行している。 ・夜間は2時間おきの見回りにて安否を確認している。	
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・石鹸、うがい薬をポンプ式にし安全に配慮しつつ自由に使えるようにしている。	
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・ひやりはつとを書き利用して事故・対応の共有をし、予防に努めている。 ・誤薬を防ぐ為3人の目でチェック、何かあれば管理者へを徹底している。	
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・2年に1回救急救命の訓練を受けている。 ・ホームでも内部研修で行っている。	
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・月に1回地震か火事の避難訓練を行っている。有事時の防災用品の備蓄もしている。 ・運営推進会議で地域との協力についても話し合っている。	
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・転倒、病気などリスクと現状をご家族に説明し、話し合っている。	
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目				
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・普段と変わることや状態変化時には、記録の特記事項にあげ、口頭でも伝えると共に、申し送りでも報告、申し送りノートにも書き、情報を共有している。	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の内容が分かるようファイルをユニットに置いている。又、薬が変わったら申し送りノートにも書き、副作用についても注意点を職員に伝達している。	
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・毎朝、フルーツヨーグルトを作り提供。野菜が摂取しやすい様、咀嚼・嚥下の悪い方にはミキサーやきざみにしている。便秘時にはアロエを摂取して頂き、でない場合は下剤を服用して頂いている。	
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後は口腔ケアを徹底。朝、昼は自立の方は出来ていない方もある。要介護に応じて援助している。	○ 毎食後の歯磨きを、全員促していきたい。
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・1日に1500Kcalとおおよその設定をしている。摂取量について必要な方は主治医に相談し、量を決めている。栄養バランスについては栄養士資格保持の職員に相談し助言を貰っていた。水分に関して摂取表を作り、把握に努めている。お茶ゼリーや野菜ジュース、他、目先を変えながら、水分摂取に努めている。	○ 足りていない方もあり、水分確保に努めていきたい。
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・外部から招き感染症の研修を行った事もあった。内部研修でも行い周知している。マニュアルを作り感染の予防に努めている。 ・外出後や朝夕にうがい、手洗いを励行している。又、来客や面会の方にも協力いただくよう、玄関に表示している。	
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・除菌、ハイターを徹底している。アルコール消毒も行っている。 ・2ユニット共有の冷蔵庫に保管、新鮮なうちに使い切れるよう工夫している。	
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目				
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり				
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関周りに花を植えたり、ベンチを置いたりし、気軽にくつろげるようにしている。道路側のフェンスには四季の花々が楽しめるよう工夫している。フェンスには掲示板を設置しあいわだよりなどを貼っている。	
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・門扉が無く、バリアフリーで玄関は入りやすい。鉄骨づくりの新築だが中に入ると和室も多く、落ち着いている。玄関には和風の昔ながらの家具を置いている。梅干の壺もご利用者の方にはホッとされるひとつ。	

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、リビングや和室に椅子やソファを設置し休憩場所を作っており、気の合った仲間での居場所が決まっている。ウッドデッキや畑にも自由に出入りしている。	
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族さんには出来るだけ馴染みの物を持ってきていただくようお願いしている。若い頃に編んだ手編みのセーターを今も愛用されておられる方がいる。テーブルや椅子を必要に応じて置いている。	
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	夏場は早朝より窓を開けている。冬は外気温が上がった頃を見計らい、利用者さんがリビングにおられる間に窓を開け換気を行っている。寒がりの利用者さんが多く、室温は少し高めである。	
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目				
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレ・浴室など必要な所には手すりなど増設している。ADL低下に伴い、浴槽をまたげなくなった方にリフトを設置した。	
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・湯のれんや便所の札をかけている。居室入り口には名札を掛け分かるようにしている。入所5年目になり、利用者さんは分かってくださっており、混乱は無い。	
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキでの日光浴、畑での収穫、花の観賞、庭掃除など天気の良い日には楽しんでおられる。	
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目				

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ひとつの家族として、和やかに暮らせるよう、お互いを認め合える生活を目指している。

## 評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	2 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	2 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	1 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	1 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	2 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目



## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 4 項目 / 5 項目 ) について

職員の入替わりによる、知識の補充として、内部研修等、同じ内容も含め、繰り返し研修を行っていく。

職員の慰労会を定期的に行い職員同士のコミュニケーションを図りながらストレス解消に努める。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 項目 / 2 項目 ) について

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 項目 / 4 項目 ) について

情報の共有の徹底を図っていく。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 項目 / 7 項目 ) について

安全に、快適に過ごせるよう、玄関の鍵の解除に向け取り組んでいく。

### V サービスの成果に関する項目について

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム愛和 Aユニット

評価年月日: 20年 8月 25日

前回評価年月日: 19年 7月 19日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
11	6	虐待の防止の徹底	2008年8月 ~ 2009年8月	職員入れ替わりもあ 毎年、内部研修に 組み込み徹底する。		
18	7	職員の移動による影響 への配慮	2008年8月 ~ 2009年8月	移動は最小限に 止めていきたい。		
20	8	同業者との交流を通じた 向上	2008年8月 ~ 2009年8月	GH交流会への参加 促していく。 近隣のGHとの訪問 など行いたい。		
21	5	職員へのストレス軽減に 向けた取り組み	2008年8月 ~ 2009年8月	慰労会を定期的 に行い、ストレス解消を はかっていく。		
38	2	個別の記録と実践への 反映	2008年8月 ~ 2008年9月	申し送り、記録漏れ 無い様、情報の共有 の徹底していく。		
50	4	プライバシーの確保	2008年8月 ~ 2009年8月	排泄誘導の声掛けの トーンに配慮していく		
66	1	鍵をかけないケアの実践	2008年8月 ~ 2008年11月	身体拘束研修での 実践として、取り組 み中。		
77	3	その人らしい暮らしを続け る為の健康面の支援	2008年8月 ~ 2008年9月	水分を取れない方 へ、取り組み中。 詳細記録で管理、 摂取を促していく。		